

大阪府内産木材利用促進モデル整備等事業（森林環境譲与税事業）

- 府有施設にて「内装の木質化」や「家具什器等の木材利用」など府内産木材等を活用したモデル事業を実施
- 公募型プロポーザル方式により、原木調達から製材・加工・設置までの複数のサプライチェーンを構築

事業の概要

- [対象施設] 府有施設(庁舎ロビー・図書館・受付カウンター・保健室等)の中から利用者数・公開性・波及効果を総合的に評価して選定
 [実施箇所数] 2施設/年×3年(令和3~5年度)
 [R3事業費] 6,000万円

完成イメージ



木材使用量22.2m³
(府内産木材100%)

咲洲庁舎 1階 フェスパ
大阪百年の森共同企業体/(株)南河内林業ほか4社

完成イメージ



木材使用量26.4m³
(府内産木材100%)

府立中央図書館 1階 展示コーナー・カフェスペース
千早銘木+ROOTE共同企業体

<今後の展開>

- 本事業をモデルに、府内市町村による森林環境譲与税を財源とした木材利用の取組みを促進することで大阪府内産木材・国産木材の利用促進を図る。

『ウッドデザイン賞2021』 大阪府森林組合 奨励賞受賞

- ・ウッドデザイン賞は、「木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度」で、今年で7年目となります。
- ・2021年度は433点の応募があり、最優秀賞（農林水産大臣賞）、優秀賞（林野庁長官賞）、奨励賞（審査委員長賞）の25点が11月24日（水）に発表されました。
- ・「ハートフルデザイン部門」奨励賞（コミュニケーション分野）
受賞者：大阪府森林組合、graf有限会社デコラティブモードナンバーズリー、飛騨産業株式会社
受賞作品：令和2年度 大阪市立中央図書館地下1階左閲覧室一部レイアウト改修
- ・この事業は、大阪市が令和2年度に森林環境譲与税を活用して整備したものです。



大阪市立中央図書館 Hon+α!(ほな!)

【講評】

森林組合、木材加工、デザイン・設計の3者が協働し、閲覧室の木質化のデザインと普及開発のワークショップを組み合わせた、社会提案性のある活動である。

森林環境譲与税の活用による「地域の森の使い方」の自分事化の好例である。